

第3種郵便物認可

# 「競争」から「貢献」へ

県内企業の財務データから何が見えてくるのか。財務経営サービス（宮崎市）社長で税理士の中村健一郎氏に、ウイズコロナ時代のビジョンと課題を聞いた。（聞き手 経済部長・樋口由香）

「県内企業への影響をどう見る。」

「顧問先である法人約200社と個人事業者約100件のうち飲食、ホテル、医療、イベント関連業者は3月以降、売上高5〜8割減の月もあった。例年は好業績だった。」

新型コロナ  
みやざき  
経済  
インタビュー

税理士 中村 健一郎社長  
財務経営サービス



## 企業文化変わる可能性

家主が家賃の減免に応じ  
てくれていることもあり  
がたい」

「雇用状況はどうか。コロナの影響を受ける。」

業等の不安から正社員が  
離職を申し出ているケー  
スもある」

「コロナ後をどう見る。」

向きにとらえ、自己変革  
していく起業家精神の発  
露が求められている」

「どんな仕事求めら  
れる。」

企業が、半期で1億円を  
超える赤字になった事例  
も出ている」

「資金繰りは。」「1社当たり約5百万  
〜6千万円に上る金融機  
関からの支援で、取りあ  
えず資金はつながってい

る。これまでは無借金経  
営を勧めてきたが、第3  
波、第4波が発生してか  
は、借入金や持続化給付  
金の借り入れは難しくな  
ると思われるので、今は  
目いっぱい借りるよう指  
示している。（宮崎市の  
一方で、アルバイトだけ  
でなく、感染リスクや休

「コロナが収束しても  
元には戻らず、『7〜8  
割経済』になると見てい  
る。ペストの流行で中世  
ヨーロッパの封建社会が  
崩壊したように、世界的  
な感染症は社会構造の変  
革をもたらしてきた。今  
度もコロナを機に高度成  
長型の企業文化・社会風  
土は変わるのではない  
か。弊社では、そうした  
変化に対応できる業態転  
換を提案している。既に  
夜の居酒屋を改装してラ  
ンチ中心の業態に変えた  
企業もある」

「社会が大きく変動す  
るときには困り事が次々  
と出てくる。そこにビジ  
ネスチャンスが生まれ  
る。『よりもうかる、よ  
り楽しく』といった享樂  
的競争志向の時代から、  
『どれだけ人の役に立て  
るか、コミュニティーに  
貢献できるか』が問われ  
る時代になると思う。今  
は、そうした新しい社会  
が開花する過渡期だと見  
ている。現代社会で一定  
の影響力を持つ企業経営  
者として、より良い職  
場、より良い地域づくり  
を志向し、社会全体に広  
げていくリーダーシップ  
を発揮していきたい」  
（宮崎市・財務経営サ  
ービス事務所で）

鹿嶋市出身。志布志高  
志布志市出身。鹿嶋市  
志布志市出身。鹿嶋市  
志布志市出身。鹿嶋市

なかむら・けんいちろう 鹿  
児島県曾於市出身。志布志高  
九州大法学部卒。福岡、熊本  
の会計事務所勤務を経て1986年  
10月独立開業。妻の久美子さん  
も税理士。67歳。